

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1957
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.50, No.1 (1957. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19570101--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌

慶應義塾經濟學會

一月號

昭和二十六年一月十三日
昭和二十五年十月二十四日
發行(毎月一日發行)
國總特別後承認雜誌第一九〇三號
第三種郵便物認可

論 說

經濟心理學における同型理論Ⅱ……………中鉢正美(一)

地方産業の現状と問題……………青沼吉松(一六)

—遠州綿織物業を事例として—

アメリカの土地投機に關する一研究……………中村勝己(三)

—Holland Land Company の場合—

資 料

最近における物價史研究の動向……………渡邊國廣(五)

書評及び紹介

經濟學關係文献目錄

第五十卷

第一號

書評及び紹介

D・ハンフレイ著『アメリカの輸入』……………白石 孝(五)

三菱経済研究所『世界貿易—自由化問題の背景』……………白石 孝(六)

岡 稔著『ソヴェト工業生産の分析』……………加藤 寛(三)

T・W・ハチスン「経済學者としてのペンサム」……………服部成三郎(奎)

經濟心理學における同型理論 II

中 鉢 正 美

第一節 同型理論と履歴現象

藤林敬三教授が、理論的・實踐的經濟心理學としての労働者個性に關する社會心理學を確立すべく努力されて以來、作業集團の意識形成についての社會心理學的研究は、特にアメリカにおける人間關係論の展開と結合して急速に増大した。また最近その理論的根據として次第に重要視されつつあるもののひとつは、これもまた藤林教授によつて早くより注目されていたゲスタルト心理學の方法に立脚する諸業績である。ただしそこにおいて支配的であるのは、心理物理解同型理論を主張するW・ケーラーの實體論的立場であるよりは、むしろ心理學的生活空間の作業假説に立脚するK・レヴィンの機能主義的立場であるといつてさしつかえあるまい。しかし經濟心理學の實踐的課題は、深く經濟社會の物的機構に根ざすものであり、またその故にこそかかる物的機構を解明する科學の理論的前提として、經濟心理學の成果が重要な役割を果すこともなるのである。そこにはケーラーの實驗心理學的研究の成果とは若干ことなる意味

經濟心理學における同型理論 II

においてではあるが、やはりいわゆる第一次集團における人間生活の物的構造と、それに所屬する構成員に共通な意識構造とに關する、ある種の同型理論を確立することが必要となるのではあるまいか。藤林教授がやがて經濟心理學より労働科學に進み、そこにおける人間労働の生理學的知識と、労働意欲に關する文化科學的知識との間になんらかの方法論的統一を發見しようとされたのも、ある意味ではかかる要請に答えようとしたものとみることができよう。本篇における筆者の目的もまた、要するにケーラーが同型理論の證明にあたつて使用した履歴現象の測定という手續きを、第一次集團としての家計構造の變動過程と、そこにおいて再生産される労働者の意識が社會經濟的諸條件とは相對的に獨自な變動をしめす過程との對應關係について、適用してみようとするものにはかならない。さてケーラーの心理物理同型理論は、視覚の場における殘存効果が、大脳皮質の電解質の場における履歴現象と正確に對應することを證明しようとするものであつた。彼はその著「心理學における力学説」(Dynamics in Psychology, 1940.)において、心理學の獨